



2021年5月28日

各 位

会社名 富士興産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 保谷 尚登
 (コード番号 5009 東証一部)
 問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文
 (TEL. 03-6859-2050)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2021年5月14日に未定としておりました2022年3月期の第2四半期(累計)と通期の連結業績予想及び配当予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第2四半期実績(A)	16,375	321	510	390	48.81
今回予想(B)	24,000	100	130	90	11.29
増減額(B-A)	7,624	△221	△380	△300	
増減率(%)	46.6	△68.9	△74.5	△76.9	

2022年3月期通期連結業績予想数値(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	42,391	655	871	632	79.29
今回予想(B)	55,600	540	600	430	53.94
増減額(B-A)	13,208	△115	△271	△202	
増減率(%)	31.2	△17.6	△31.2	△32.1	

(理由)

新中期経営計画の策定のため、2021年5月14日発表の決算短信において未定としていました業績予想を公表いたします。

2021年度の業績につきましては、新規顧客獲得のための投資(経費計上)が大幅に増加することが見込まれるため、一時的に利益が減少することとなります。この投資の増加につきましては翌期以降の業績に寄与いたします。

なお、新中期経営計画の詳細につきましては、本日同時に開示しております「長期ビジョン及び中期経営計画(2021年度~2023年度)策定のお知らせ」をご参照下さい。

2. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2021年5月14日発表)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —
今回予想	—	23.00	—	31.00	54.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	0.00	—	103.00	103.00

※前期実績の期末配当については、特別配当 80 円を含めております。

(理由)

新中期経営計画の策定のため、2021年5月14日発表の決算短信において未定としていた次期の配当予想につきまして、利益配分に関する基本方針とともに公表いたします。

利益配分に関する基本方針及び次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題であるとの認識のもと、中長期的な視野に立った投資により企業価値を増大させ、積極的な利益還元を行うことを基本方針としています。また、従来、期末日を基準とした年1回の配当に加え、第2四半期末日を基準とし、年2回の剰余金の配当を実施していく方針であります。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

この基本方針に基づき、本中期経営計画期間（2021年度から2023年度）の株主還元については、市場環境や資本の状況を勘案し、利益配当と自己株式取得を合わせて、総還元性向100%を目安として実施する方針であります。

2022年3月期の剰余金の配当金につきましては、上記方針に基づき配当性向100%、1株当たり年間54円（中間配当23円、期末配当31円）の予定といたしました。

なお、新中期経営計画の詳細につきましては、本日同時に開示しております「長期ビジョン及び中期経営計画（2021年度～2023年度）策定のお知らせ」をご参照下さい。

(注) 上記の予想はあくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上